学校番号	１０１５

平成 31 年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校美術３（日本文教出版）						
副教材等	使用していない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画、立体、デザインなどの実技を伴う「表現」と様々な芸術作品や他の生徒の作品を見て、他の人の感性や考え方を理解する「鑑賞」のふたつの領域を学習する。

・美術を通して何かを感じる力（感受性）、考える力（審美観）、伝える力（表現力）を身につける事をねらいと目標とする。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創作活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や創造力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現に活かすことができる。	美術作品や友人の作品を見て、その良さや工夫した点を理解し、味わうことができる。
評価方法	制作の様子 アイデアスケッチ グループワークの様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	鑑賞中の態度 発言内容 鑑賞レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	アイドルスターに迫る	【絵画】 ・芸能人、俳優、スポーツ選手など誰もが知ってる有名人の写真を白黒にコピーし、B3パネルに模写する。 ・写真・パネルの縦横の比率を合わせ、両方に同数の罫線を引く。 ・同じます目同士を比較しながら鉛筆で丁寧に写していく。 ・写真の明暗を理解し、ポスターカラー(モノトーン)で着色をする。	○ ○	○	○ ○	○ ○	a:作品作りにふさわしい写真（大きさ・鮮明さ）を探し出し、白黒コピーができてい。 b:縦・横の比率を理解し、正しくます目を作成できている。 c:ます目を比較しながら、正確に描写できているか。 d:明暗を理解し、適切な濃度の絵具で陰影を表現できる。	学習活動の様子 アイデアスケッチ 制作の様子 作品 鑑賞の内容
	鑑賞レポート	【鑑賞】 夏休みに開催される「高校展」を鑑賞し、レポートを書く。	○			○	a: 鑑賞を通じて、作者の意図や表現の工夫、美しさに共感することができる。 d：作品の良さを理解し、文章にまとめることができる。	
後期	蓋つき創作パズル	【工芸】 ・ひとつのテーマを決めて、テーマに沿った図柄を描き出す。 ・図柄を隙間なくそれぞれ独立させながら埋めていく。 ・両面シナベニヤに図柄を写し、電気糸鋸機で切断する。 ・切断したパーツをやすりでよく磨く。 ・各パーツをアクリルガッシュで着色しニスを塗る。	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	a:テーマに沿った図柄が複数表現できる。 b:各図柄を独立した形で隙間なくうめている。 c:埋め方や全体のバランスに工夫が感じられる。 d:糸鋸機のしくみをよく理解し、正しく使える。	学習活動の様子 制作の様子 作品 学習活動の様子 制作の様子 作品 鑑賞の内容

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。